

平成29年度

公益社団法人 伊勢市観光協会

事業計画書

公益社団法人伊勢市観光協会

公益社団法人伊勢市観光協会
平成29年度 事業計画 (案)

昨年5月、開催をされた主要国首脳会議『伊勢志摩サミット』は国の強力な主導の元、この地域を挙げた協力により無事終了しました。世界各国から3000名を超える報道陣がこの地を訪れ伊勢志摩の名は国内だけでなく広く国際的にも知られる処となりました。観光速報値からも遷宮以降漸減していた伊勢への入れ込み客は再び上昇に転じ、外国人の宿泊数も大きく増えた事が読み取れます。また去年は伊勢志摩国立公園70周年の節目を迎え、環境省はこの地域をナショナルパークとしてブランド化することに着手しました。本年4月には『お伊勢さん菓子博2017』が開催され、来年には全国高等学校総合体育大会(インターハイ)も開催されます。我々協会は現状に満足することなくこれから起こるであろう変化をしっかりと視野に入れながら自己を点検し、伊勢志摩ファンを確実に拡大して行かなければなりません。一方で知事の提唱する『観光の産業化』を実現し、日本版DMOの推進、ふるさと納税の拡大など伊勢志摩のブランドをしっかりと守りながら『稼ぐ力』も付けて行く必要があります。

平成29年度の伊勢市観光協会の役割は、引き続き伊勢の魅力を広く発信しながら、諸行事を通して訪れたお客様方の満足度を高め、この地域への観光客の入れ込みを拡大させて行くことと考えます。情報発信・おもてなし行事・青年の各部会は国内誘客と同時にインバウンド時代に向けた新しい発想を持って諸事業の計画・実施を図っていただきたい。また中期政策検討部会には当協会の財務体質改善・日本版DMO実施に向けた具体策を計画・実践を行って頂きたいと考えます。会員数400名もまじかに迫り全員で会員拡大にも取り組んで行きたい。

伊勢市観光協会の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人伊勢市観光協会
会 長 濱田 典保

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会、その他）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

伊勢の知名度をさらに高め、多様化している内外観光客のニーズに対応できる観光情報を提供できるホームページやメールマガジン等の充実を図ります。今年度はホームページのリニューアルを予定しており、時代に沿った形での情報の提供を目指します。

青年部事業の伊勢のファンクラブ事業では更なる会員拡大を目指すと同時に新たな企画を立て情報発信に努めます。同じくマスコットキャラクター事業においてはキャラクターの活躍の場を増やし、効果的な情報発信に繋がります。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供
(情報発信部会・青年部・事務局)
2. 観光案内所における観光情報の提供（案内所、事務局）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」によるメディア等取材協力（おもてなし行事部）
4. 行政との観光パンフレットの共同作成及び配布事業
(情報発信部会、事務局)
5. 観光物産展等の物品販売事業と連動したPR誘客活動（青年部、事務局）
6. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
7. 観光大使及び御師と連携し、ロコミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
8. 伊勢のファンクラブ事業（青年部）
9. 第50回日本観光祈願祭の開催（祈願祭実行委員会）
10. 第13回日本観光交流・伊勢会議の開催（祈願祭実行委員会）
11. マスコットキャラクター事業（青年部）
12. 外国人観光客誘客事業（情報発信部会、事務局）
13. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、その他）

行政、商工会議所など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

外国人誘客（インバウンド）事業では新しく「インバウンド委員会」を組織し、海外からの誘客を考えていきます。北米地域の日系人向け誘客PRでは、現地イベントへの出展や伊勢市と共に外務省の海外情報発信事業「Japan House」への協力を視野に入れながら進めていきます。

5年目を迎える手荷物事業では、利用促進を図るとともに新たなサービスの開発・提案をしていきます。

青年部ではレンタサイクル事業の強化を図り、定番事業としてレンタサイクルを利用したフォトサイクル事業を実施して更なる誘客につなげます。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部、事務局）
2. フォトサイクル事業（青年部、事務局）
3. 観光案内所の運営（案内所、事務局）
4. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
5. 首都圏等への旅客誘致推進事業（全体事業）
6. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部、事務局）
7. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
8. 伝統芸能振興協力（事務局）
9. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会、事務局）
10. 行政並び関係機関との第63回御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
11. 伊勢市駅、宇治山田駅における手荷物事業（事務局）
12. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
13. その他

3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究と様々な実験事業に実行及び協力していきます。青年部においては伊勢の食文化にスポットをあてたマップ作成をさらに充実継続させ、さらなる観光資源の発掘も行なっていきます。今年度はICTを利用したAR（拡張現実）の研究事業も立ち上げ、観光誘客利用の研究検証をしていきます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（御師委員会）
3. 先進観光地の研究、視察（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）
5. 伊勢の食文化調査企画事業（青年部）
6. AR研究事業（青年部、新規）
7. 青年部活動と協働（青年部、親会）
8. 観光振興研修事業
9. その他

4 観光施策及び共催事業（おもてなし行事部、青年部、事務局）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 春まつり及び桜開き式（おもてなし行事部）
2. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
3. 二見浦海水浴場浜開き（おもてなし行事部）
4. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
5. 神嘗奉祝祭への協力（おもてなし行事部）
6. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
7. 伊勢冬至祭（南瓜及び柚子の奉納とぜんざい振る舞い）（おもてなし行事部）
8. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
9. 伊勢楽市（春・秋）開催協力（青年部、事務局）
10. 参宮木札事業への協力（伊勢志摩キャンペーン含む）（事務局）
11. 御幣鯛奉祝事業（事務局）
12. 行政とのPR企画事業（情報発信部会、青年部、事務局）
13. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部、事務局）
14. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 各種観光事業団体への協力及び事業の推進（事務局）

各観光団体の中枢会員として、事業の協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。

各種観光事業団体への協力及び事業の推進におきましては次の事業を行います。

1. 伊勢商工会議所
2. （公社）伊勢志摩観光コンベンション機構
3. （一財）伊勢志摩国立公園協会
4. （公社）三重県観光連盟
5. 伊勢元気再生事業推進協議会
6. 伊勢市国際交流協会
7. 伊勢志摩学生団体誘致委員会
8. （公社）日本観光振興協会
9. 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会
10. 伊勢まちづくり会社
11. 伊勢青年団体連絡協議会（新規）
12. DMOへの協力
13. その他団体との協力、連携

6 協賛または後援行事（事務局）

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 二見浦さくらまつり
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢市民まつり協賛
10. おひなさまめぐり in 二見
11. 全日本大学駅伝対校選手権大会（熱田神宮～伊勢神宮）
12. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦
13. 伊勢神宮奉納書道展
14. お伊勢さんマラソン大会
15. 松尾観音寺初午祭
16. 神宮奉納大相撲
17. 金剛證寺開山忌
18. 伊勢高柳の夜店
19. その他 協会が認める観光事業へ

7 市受託（入札）事業（事務局、おもてなし行事部）

伊勢市から2事業について入札に参加し受託を目指します。

1. 観光案内所（事務局）

（伊勢市駅構内・宇治山田駅構内・外宮前・二見浦・宇治浦田）の運営を通し内外観光客に必要な情報を提供し、ストレスフリー観光の実現を目指します。

2. 二見浦海水浴場の運営（事務局、おもてなし行事部）

日本初の公認海水浴場の運営を通し、おもてなしと情報発信をしていきます。

<収益事業>

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業を推進します。

2 物品販売事業（青年部 事務局）

「伊勢乃国発ええじゃないか便」を使った情報発信と収益事業。インターネット通販の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政共に広報の拡大や返礼品の商品拡充を図ります。

3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部、事務局）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行、青年部におけるインターネットを使用した会員の情報発信ウェブサイトの充実や、会員互助事業企画等を考えていきます

<本部事業>

1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度は事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図ります。さらに先進地への研修なども視野にいれ健全な協会運営に役立てます。